

記者発表(資料配布)

月/日	担当課(室)係名	TEL(代表)	発表者名	資料配布先
12/7(木) 14:00	県立人と自然の博物館 生涯学習課	079 (559)2001	次長 田原直樹 (安井健二)	県教委記者クラブ 三田市記者クラブ

県政150周年記念

人と自然の博物館&県立大学自然・環境科学研究所 25周年記念フォーラム

「日本の恐竜時代を探る！」の開催について

1 主旨

兵庫県丹波市・篠山市に分布する白亜系篠山層群より丹波竜が発見されてから11年を迎えようとしています。

また、同層からはカエルやトカゲといった小型脊椎動物化石、また植物化石など当時の生物相や古環境を検討する上で重要な資料も相次いで発見されています。加えて、近年北海道のむかわ竜等、国内他地域からも相次いで恐竜化石が発見されており、日本における恐竜研究、また同時代の生物群、古環境の研究は新たな転換期を迎えようとしています。本フォーラムでは、日本の代表的な恐竜化石産地、その研究の現状を紹介しつつ、日本における恐竜時代に関する研究の可能性を考えます。

2 概要

- (1) 日時：平成30年2月18日(日) 13:00~17:30
- (2) 会場：兵庫県立人と自然の博物館 ホロンピアホール
- (3) 定員：300名(先着順)
- (4) 参加費：無料
- (5) 主催：兵庫県立人と自然の博物館、兵庫県教育委員会、兵庫県立大学
- (6) 協力：丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会、丹波県民局、丹波市、篠山市、公益財団法人兵庫丹波の森協会
- (7) 後援：阪神北県民局、三田市、三田市教育委員会、日本古生物学会、日本地質学会、NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク

3 プログラム

- 13時00分 開会
開会挨拶：高井芳朗 兵庫県教育委員会 教育長
- 13時07分 趣旨説明：中瀬 勲 兵庫県立人と自然の博物館 館長
- 13時12分 記念講演：真鍋 真 国立科学博物館
「恐竜時代に日本から想いを馳せる」
- 14時00分 第一部フォーラム「日本の恐竜時代を探る」
・池田忠広 兵庫県立人と自然の博物館/兵庫県立大学
「篠山層群の恐竜・小型脊椎動物化石、その多様性について」(30分)
・山田敏弘 金沢大学
「日本に恐竜がいた頃の植物」(30分)
- 15時00分 休憩(10分)
・柴田正輝 福井県立大学/福井県立恐竜博物館
「手取層群の恐竜から見る、前期白亜紀のアジアにおける恐竜の進化と広がり」(30分)

- ・小林快次 北海道大学総合博物館
「白亜紀末の恐竜の世界：世界における日本の重要性」（30分）
- 16時10分 休憩（10分）
- 16時20分 第二部 パネルディスカッション「日本の恐竜時代～その研究の展望～」
 - ・コーディネーター：三枝春生 兵庫県立大学/兵庫県立人と自然の博物館
 - ・パネリスト：真鍋真、小林快次、山田敏弘、柴田正輝、池田忠広
- 17時00分 質疑応答 回答者：第一部・第二部演者
- 17時30分 閉会挨拶：太田 勲 兵庫県立大学 学長
閉 会

4 担当

兵庫県立人と自然の博物館 事業推進部長 佐藤裕司

電話：079-559-2001（代表） E-mail: h-sato@hitohaku.jp

日本の恐竜 時代を探る!

とき

2018年2月18日 日

13:00 ~ 17:30

ところ

兵庫県立 人と自然の博物館
ホロンピアホール

定員

300名

※定員に達し次第締め切ります

参加費
無料

事前
申込

「恐竜時代に日本から想いを馳せる」 真鍋真 (国立科学博物館)

「篠山層群の恐竜・小型脊椎動物化石、その多様性について」 池田忠広 (人と自然の博物館 / 兵庫県立大学)

「日本に恐竜がいた頃の植物」 山田敏弘 (金沢大学)

「手取層群の恐竜から見る、前期白亜紀のアジアにおける恐竜の進化と広がり」 柴田正輝 (福井県立大学 / 福井県立恐竜博物館)

「白亜紀末の恐竜の世界：世界における日本の重要性」 小林快次 (北海道大学総合博物館)

日本産恐竜化石は 大したことはない!? いやいや、どうして!

近年日本各地から発見されている恐竜化石は世界的に貴重なものが多いのです。本フォーラムでは、最前線で調査研究されている方々にお集まりいただき、日本産恐竜化石研究の可能性を探ります。



兵庫県立 人と自然の博物館
三田市弥生が丘6丁目

【電車】神戸電鉄フラワータウン駅から徒歩約5分
【お車】中国自動車道神戸三田ICから約10分
※近隣の有料駐車場をご利用ください。

プログラム
詳細は裏面へ

人と自然の博物館 & 県立大学自然・環境科学研究所「日本の恐竜時代を探る！」プログラム

25周年記念フォーラム

- 13:00 開会挨拶：高井芳朗（兵庫県教育委員会教育長）
- 13:07 趣旨説明：中瀬勲（兵庫県立人と自然の博物館館長）
- 13:12 記念講演：真鍋真（国立科学博物館）「恐竜時代に日本から想いを馳せる」
- 14:00 第一部フォーラム「日本の恐竜時代を探る」
 「篠山層群の恐竜・小型脊椎動物化石、その多様性について」池田忠広（兵庫県立人と自然の博物館 / 兵庫県立大学）30分
 「日本に恐竜がいた頃の植物」山田敏弘（金沢大学）30分
- 15:00 休憩
- 15:10 「手取層群の恐竜から見る、前期白亜紀のアジアにおける恐竜の進化と広がり」柴田正輝（福井県立大学 / 福井県立恐竜博物館）30分
 「白亜紀末の恐竜の世界：世界における日本の重要性」小林快次（北海道大学総合博物館）30分
- 16:10 休憩
- 16:20 第二部パネルディスカッション「日本の恐竜時代～その研究の展望～」
 コーディネーター：三枝春生（兵庫県立大学 / 兵庫県立人と自然の博物館）
 パネリスト：真鍋真、小林快次、山田敏弘、柴田正輝、池田忠広
- 17:00 質疑応答（回答者：一部、二部の演者）
- 17:20 閉会挨拶：太田勲（兵庫県立大学学長）

参加費
無料

事前
申込

※定員 300 名に達し次第締め切ります

講演講師のご紹介



真鍋 真
(マナベ マコト)

東京都出身、英ブリストル大学理学部博士課程修了、博士（理学）、国立科学博物館地学研究部研究官、研究主幹、グループ長を経て、標本資料センター・コレクションディレクター、分子生物多様性研究資料センター・センター長。恐竜など中生代の化石から読み解く爬虫類、鳥類の進化が主な研究テーマ。



小林 快次
(コバヤシ ヨシツグ)

福井県出身、米ワイオミング大学卒業後、サザンメソジスト大学にて博士号（Ph.D.）を取得。北海道大学総合博物館准教授。国内だけではなくモンゴルや米国アラスカ、カナダなどで発掘調査を精力的に行う世界を代表する恐竜研究者。獣脚類恐竜を中心に恐竜の分類や生態について研究を行っている。



山田 敏弘
(ヤマダ トシヒロ)

愛知県出身、京都大学卒業後、東京大学大学院博士課程修了、博士（理学）。国立科学博物館研究官を経て、現在、金沢大学准教授。専門は植物の進化発生学と古植物学（特に、中生代植物相や植物の体制進化）。



柴田 正輝
(シバタ マサテル)

姫路市出身、広島大学大学院修士課程修了、修士（理学）、御船町恐竜博物館（非常勤）、モンタナ州立大学大学院（中退）を経て2006年から福井県立恐竜博物館研究員、福井県立大学講師を併任。福井県産を中心に、タイや中国のイグアノドン類を研究。



池田 忠広
(イケダ タダヒロ)

鹿児島県出身、鹿児島大学大学院博士後期課程修了、博士（理学）、兵庫県立人と自然の博物館研究員および兵庫県立大学特任助教。カエル、トカゲ、ヘビといった小型爬虫両生類の化石、また現生種を対象にした分類学的研究が専門。



三田市弥生が丘6丁目
TEL:079-559-2003
開館時間:10時～17時
(入館は16時30分まで)
休館日:月曜日
(祝日、休日の場合は翌日)



会場 兵庫県立人と自然の博物館 ホロンピアホール

JR宝塚線「三田駅」から神戸電鉄に乗り換え「フラワータウン駅」下車 徒歩約5分

中国自動車道「神戸三田IC（六甲北有料道路終点）」から約10分 ※博物館の乗用車専用駐車場はありません。近隣有料駐車場をご利用ください。

お申し込み方法

Web ページの入力フォーム、もしくは E-mail、FAX、はがきのいずれかで、受講希望者全員の氏名、年齢、住所、電話・FAX 番号・E-mail アドレスを明記のうえ、下記までお申し込みください。

※小学生の場合は、必ず保護者同伴でお申し込み、ご参加願います。

申し込み・問い合わせ

〒669-1546 三田市弥生が丘 6 丁目
兵庫県立人と自然の博物館 生涯学習課セミナー係

電話：079-559-2003 (9:00~17:00 月曜休館)

FAX：079-559-2033

E-mail: seminar@hitohaku.jp

※準備の都合上、2月5日（月）までにお申し込みください。

FAX 用申し込み記入欄

①氏名（参加者全員）

②年齢 / 学年

③住所 〒

④電話・FAX・E-mail アドレス

※メールで応募される場合は、上記の内容を入力し、左のアドレスまでご送信ください。
 ※提供頂いた個人情報は、今回の案内及び実施以外には使用しません。